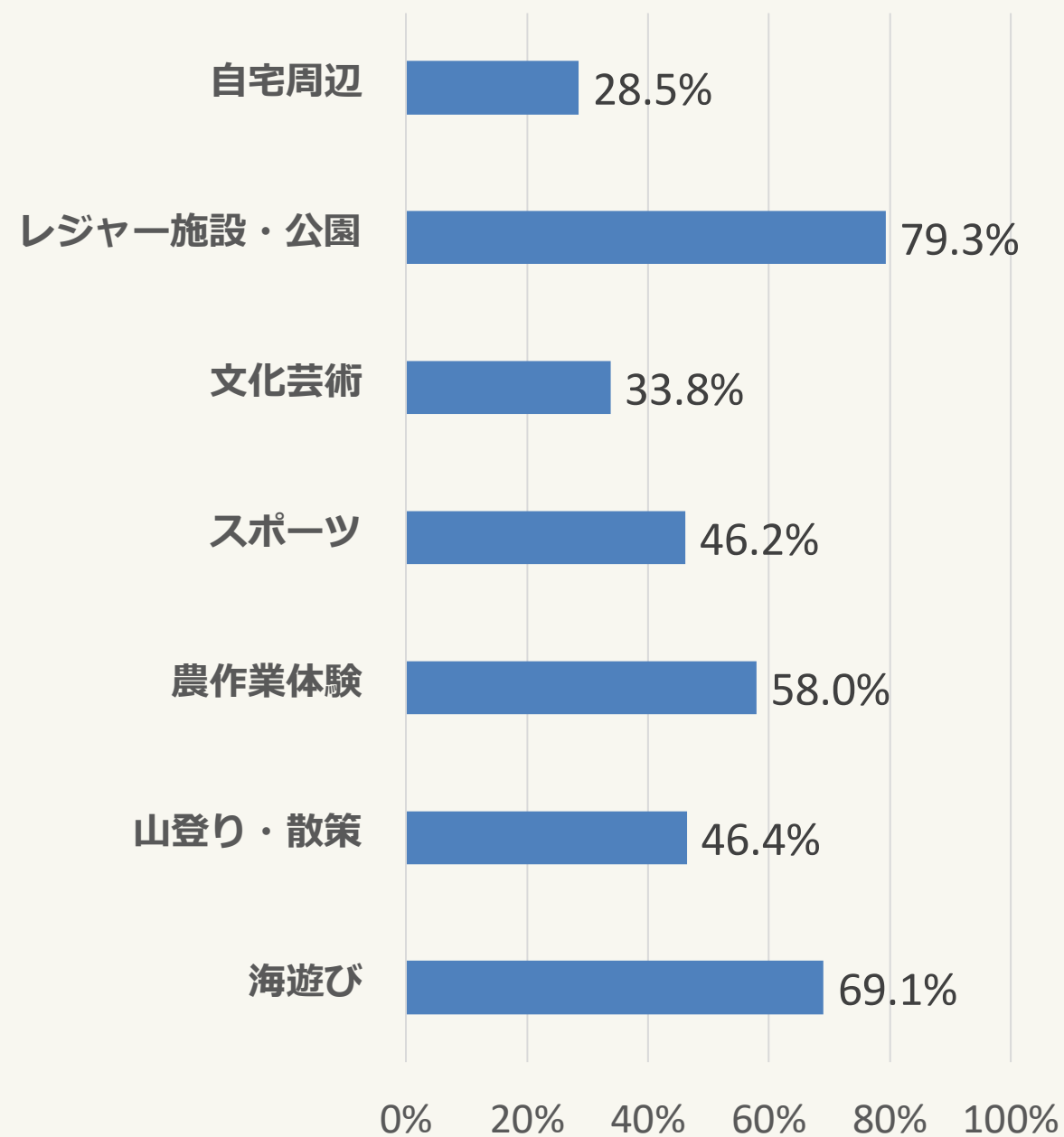


お母さん対象のコロナ禍アンケート 1

2022年6月コロナ禍の子どもたちについてのアンケートを実施。**459件の回答。**
(福岡県内LINE (株)フラウ調べ)

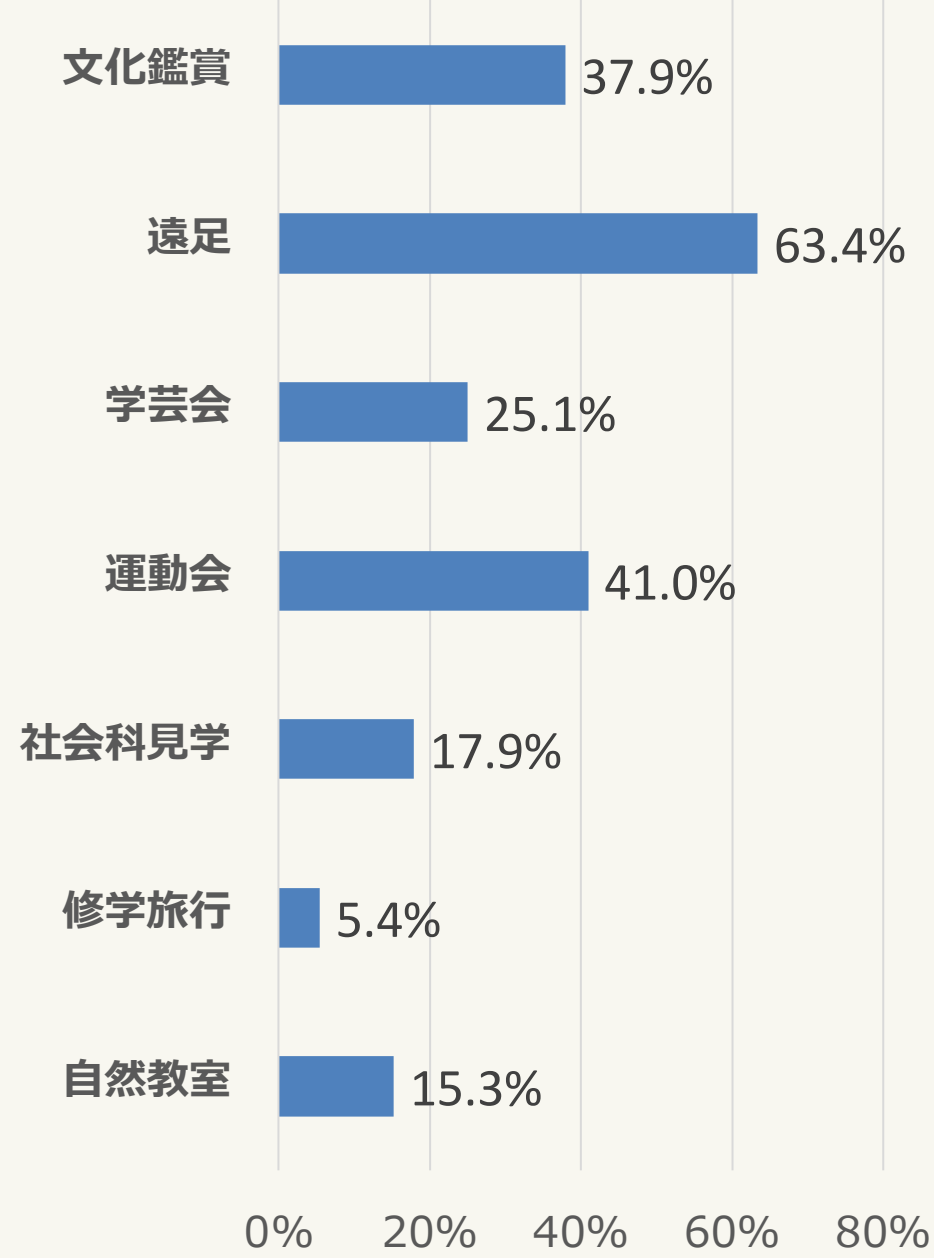
Q 野外・集合活動でやりたいと思うものを教えてください。

中止になっていた野外・集団活動をやりたい、やらせたい



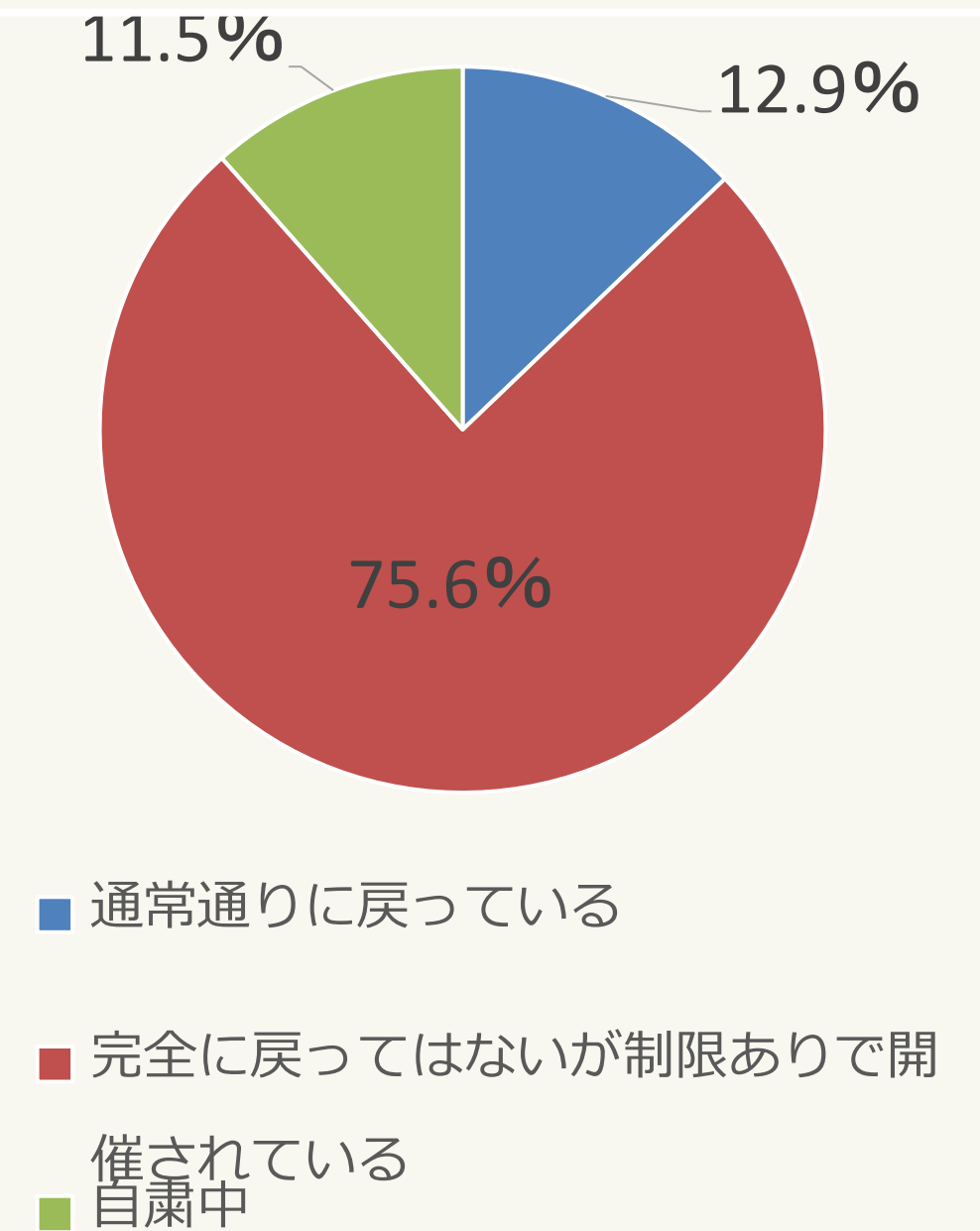
Q 学校行事の中でコロナの影響により、行けなかったものを教えてください

野外体験活動がことごとく中止になっている



Q 幼稚園、保育園、小中学校での行事や地域自治体行事は、今現在自粛されていますか？

全体の87.1%が制限・自粛中である。



お母さん対象のコロナ禍アンケート2

2022年6月コロナ禍の子どもたちについてのアンケートを実施。**459件の回答。**
(福岡県内LINE (株)フラウ調べ)

コロナ禍以降特に困ったこと (暮らしと想い)

- ・子供と遊ぶ場所が軒並み閉鎖になってどうすればいいか悩んだ。
- ・子供プラザやショッピングセンターなどのキッズスペースやベビールームがコロナによる制限になって行きづらくなり家で過ごすことが多くなり**孤独感で潰されそうになりました。**
- ・初めての妊娠・出産。親子教室などなく他のママさんたちと交流が出来なくてネットで調べるしかなく、マイナスな情報ばかり見てしまい**気持ちを発散するところがない。**
- ・コロナ禍になり、イベントが軒並み中止になり、人との交流が少なくなり、家庭の中では学べない社会活動を体験する機会が減りととてももどかし気持ちになりました。
- ・親でもコロナに対する価値観は様々。そこが似ている親子としかなかなか会えなくなりました。
- ・密を避けると屋内の遊び場にはなかなか子供達を連れて行くのが怖くて引きこもりがちになってしまった。
- ・保育園、**支援センター、その他施設の利用が制限**されたこと。
- ・三人のこどもを連れてスーパーへ買い物に行くのがとても大変でした。まだ2歳の子はマスクもちゃんと出来ないですが、知らない方からマスクをしろ！と言われる事もあり、それ以来マスクをつけられない子を連れての買い物が少し怖くなりました。
- ・いろいろな施設(図書館や子どもプラザ)が閉まっていたことです。初めての育児ですが、人との関わりが少なく、育児情報もなかなか手にしにくかったです。
- ・子どもが生まれる前は母親学級も参加出来ず、産後も**なかなか交流の場がなかったのが辛かった**です。

(経済面)

- ・仕事が少なくなり仕方なく育休を延長したら保育園の空きがなくなった。。
- ・仕事が減り、収入減少。
- ・子どものクラスから感染者が出るたびに、仕事をお休みしなければならない。コロナ関連でも、特休にしてくれず、有休にされる。
- ・幼稚園で1名でも陽性者が出ると未だに学級閉鎖になり、仕事を休まないといけないうこと。
- ・夫婦ともに飲食店勤務なので、収入が減り死活問題でした。
- ・保育園が休園になったとき仕事を休まなきゃいけない。収入が減ったのと仕事に行けない焦りと在宅生活のイライラ。
- ・休園になった事。仕事が出来ずに困りました。経済的に大打撃でした。
- ・少し体調悪くても休まなければならなかったり預けられなかったりで思うように仕事もできない。
- ・医療従事者ですが、二重マスクでの仕事で肌荒れがひどく、しかも毎日のことなので治らずで大変困っている。行動制限も厳しく、なぜ我々ばかりに皺寄せがくるのか。給料があがるわけではないし、むしろコロナ禍で病床管理が難しく収益難で踏んだり蹴ったり。